
出張安楽椅子探偵。

宮原 桃那

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

出張安楽椅子探偵。

【Nコード】

N2184Z

【作者名】

宮原 桃那

【あらすじ】

探偵の彼は、名探偵でありながら珍妙な呼ばれ方をされていた。その名も「出張安楽椅子探偵」。

現場に居ながら現場を見ず、与えられた情報だけを頼りに推理するという奇妙なスタイルから名づけられていた。

そんな彼と、彼の娘の日常を、ほんの少しだけ。

（前書き）

昔書いた小説の主人公の父親のお話です。序章みたいな形にしてますが、本編を書くかどうかはまだ決めてません。あとのものすごく短いです。

「けっこう。もう十分です」

「えっ……？」

「犯人が分かりました」

彼はこともなげに言う。

「この屋敷の主を殺したのは、メイドの榊^{さかき}さん。あなたですね」
ひっ、とメイドの格好をした女性が顔をひきつらせた。

「な、何の根拠が！」

「あなただけが出来る事が、たった一つ存在しています」
見たわけでもないのに、彼の自信は揺るがない。

「それは、主に薬を渡す役目ですよ」

「まさか、あの人の死因は、毒殺！？」

「そんな馬鹿な！？だって、毒なんてどこからも出なかったって！」
「ええ。出るわけがありませんよ。薬が毒だったのですから」
「どういうことだ、と彼らは顔を見合わせる。」

「彼は寝る前に服用する薬を決められていました」
その薬を間違えると、すぐに命に関わるという。

メイドはそれを利用したのだと彼は言った。

「あなたは、機会をうかがっていたのでは？あなたを信用しきった
主が、何の疑いもなく飲んではいけない薬を飲む機会を」

「でたらめです！どこからそんな……！」

「では、今すぐに薬を持ってきてください。処方箋と共に、彼が飲
んでいた薬をね」

メイドは、震えてくずおれた。

彼の仕事は、それで終わり。あとは警察の仕事だ。

「今日の仕事は楽で良かったよ……」
帰るなり彼はほっと息を吐いた。

「穴だらけの計画だが、一步間違えたら迷宮入りだ。……そんな事件を失くすための我々なんだがね」

「お父さん、お疲れ様です」

出迎えた娘に、彼は笑いかける。

「ただいま、文香^{あやか}」

「でも、残念でしたね。せっかくのパーティー招待がそのまま事件になるなんて」

「はは、探偵稼業にはつきものだよ」

さて少し休もうか、と言いながら歩いていく彼の姿を、娘はただ見送る。

彼 瑠璃原^{るりはら} 香樹^{かじ}は有名な探偵だ。解決した事件は数知れない。だが、彼は少し特殊だった。

「出張安楽椅子探偵……ですか。珍妙な名前ですね」

苦笑して呟く娘の言う通り、彼は外に出て事件に巻き込まれた拳句、自分で調査せず、現場で与えられた情報だけをデータに事件を解決するのだ。

「……私も、いつかお父さんみたいになりたいです。立派な探偵に」
呟く少女は、自室へ向かうべく、壁に掛けられた紐を引っ張る。
がこん！

直後、床に四角い穴が空いて、彼女はその下へ落ちた。

この屋敷は、からくり屋敷。

前の持ち主の趣味がそのまま残り、危険な物も存在する為に格安で売られていたのを彼が買い取ったのである。

幸いトラップの見取り図は残されており、彼ら父娘はそれを頼りにこの家の快適な過ごし方を獲得した。

春近い三月半ばのことである。

まだ彼女は知らない。

この先降りかかる災厄を。

（後書き）

さりげなくこんなところに詳細を。

事件は単純に薬殺。メイドは主に恨みを抱いており、長く勤めながら信頼を得て、妹の命日であるこの日に殺害を計画。主は特殊な病で、朝と晩に薬を飲み、その薬を飲む順番を間違えると心臓に負担がかかり、あつという間に死に至るという特性を利用した殺人だった。

実際にこんな病気があるかは知りませんが、薬の服用は間違ったら命に関わるのは本当です。

ちなみに娘の文香ですが、彼女は彼女で色々巻き込まれる体質です。母親は幼少期に病死してます。

たまにはこんな短いのも書きたかった、というのが大元でした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2184z/>

出張安楽椅子探偵。

2011年12月7日22時51分発行